



1月園だより

2023年1月
尚徳福祉会
沼袋西保育園
園長

「かわいい」「おりこうさん」「がんばったね」 以外の言葉でほめよう

主婦の友社 3～6歳 能力を伸ばす 個性を光らせる(2010年)
東京大学名誉教授 汐見 稔幸 氏

新年、明けましておめでとうございます。

新春を迎え、みなさまのご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

さて、昨今のニュースで保育現場の不適切な保育が取りざたされ、保護者の皆様も心を痛めておられるのではないのでしょうか。沼袋西保育園では「ていねいな保育」を全職員の共通認識として保育に当たっております。また、保育の質の向上にむけ、こんな時どうする？をみんなで話し合うケーススタディ、人権擁護のチェック、クラス内でのミーティング、個々の意見や考えを伝え合う研修等を職員会議後や行事後に行っております。みんなでみんなを見る。どの子も私達の大事な子どもたちです。もし、疑問やご心配な事等ございましたら、遠慮なく、園長、主任までお知らせください。

今年も子どもたちを真ん中に子どもたちの笑顔があふれる楽しい園生活となるよう、保護者の皆様と力を合わせて頑張っていきたいと思っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

☆1月の予定☆

- 5日(木) 避難訓練
- 10日(火) 幼児身体計測
- 11日(水) 乳児身体計測
- 12日(木) 0歳児健診
- 17日(火) 年長組5園交流(雨天2/9)
- 26日(木) 0歳児健診

※23日の月曜日、英語であそぼう(幼児組)

☆2月の主な予定☆

- 1日(水) 避難訓練
- 3日(金) 節分
- 7日(火) 幼児身体計測
- 8日(水) 乳児身体計測
- 9日(木) 0歳児健診
- 15日(水) 3歳懇談会
- 16日(木) 4歳懇談会
- 17日(金) あおぞら安全教室(ゆり組)
5歳懇談会
- 24日(金) 0歳児健診
サッカー教室(ゆり組)

※13・27日の月曜日、英語であそぼう(幼児組)



☆お知らせ・お願い☆

○感染拡大防止の観点から引き続き、玄関先でのアルコール消毒(大人)と、登園後すぐのお子さまの手洗いをお願いいたします。

○お子さまに発熱や呼吸器症状等がある場合は登園を控えていただき症状によっては受診をして登園の可否の確認をお願いいたします。又、同居のご家族に発熱等の体調不良が認められる場合は、お子さんもご家庭で様子を見ていただきますようお願いいたします。

○1/17(火)は5園交流でゆり組が他園の5歳児と交流します。

○年明けに3日間、卒園児の小学生が職場体験として4・5歳児クラスに入ります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○1/23(月)～2/4(土)の期間、実習生が入ります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

○登園届・意見書はホームページよりダウンロードしていただけるようになりました。ご利用下さい。

○保育園をお休み、もしくは遅れて登園される場合は当日の朝9:30までにご連絡をお願いいたします。

ほめるとは その子らしさを見つけること

「ほめる」というのは、その子らしさを見つけて「それがあなたのいいところだね」と言ってあげることです。ところが、日本人はほめるのがへたです。日本語にはほめ言葉の種類が少なく、「おりこうさんね」「がんばったね」「かわいいね」の3つくらいしかないからでしょうか。「かわいい」も「おりこうさん」も「がんばってる」もどうもお世辞のようで、ほめられている気持ちになれないものです。

1枚の絵について 5とおほめてあげてほしい

お母さんやお父さんたちにお願ひしたいのは、子どもが5歳くらいになったら、たとえば子どもが描いた1枚の絵を5とおほくらはほめてあげてください、ということです。

「じゃうずに描けたわね」と言うと、それでおしまいになってしまいます。そうではなくて「この緑と赤がいいコントラストになっていて、赤が映えているわ」「背景をこんな色にするなんて、大人には考えつかないわ。いいセンスね」「家の形は四角に描くことが多いのに、丸く描いたから、すごく柔らかい感じになっているのね。〇〇ちゃんがやさしいタイプだからなのかもしれないわね」というようにほめるのです。

ひとつの絵の中にその子らしさ、その子らしい表現の仕方を見つけて、「これがあなたのいいところなのかもしれない」と伝えてあげます。

そうすると、子どもも「そうかな。こんどからそういうことを大事にしていこうかな」という気になります。「じゃうずに描けたわね」だけでは、子どもは次に何をしたいのかかわからなくて、ほんとうの意味でほめたことになっていません。お世辞を言ったようなものなのです。

ほめるというのは 光る個性を見つけてあげること

ほめるというのは、その子の個性の中で光るところを見つけてやることです。ですから、ふたりの子どもが同じことをやっても、同じほめ言葉を使ってはいけません。

子どもが洗濯物をたたんでくれたとき、お兄ちゃんなら「たたんでくれたのね。さすがに責任感が強いわね」であり、弟なら「いつの間にたためるようになったの?じゃうずになったわね」とその子にとっていちばんふさわしいほめ言葉をさがしてあげます。失敗したときも「あなたらしい失敗だね」と言ってあげるので。

その子らしさを見つけて「そこをあなたは大事にきなさいよ」ということなので、子どもをよく見なければ、ほめることはできません。ほめるということは、子どもの個性育てなのです。

個性を育てるほめ方

これからは本格的に国際化の時代になり、いまの子どもたちが30代になったときは、中国やベトナム、インドなどからたくさんの方が日本にやってくるでしょうし、日本の会社もそれらの国々へもっと進出するようになるでしょう。

ですから、いまのように日本人だけが集まって、何も言わなくてもわかり合っているような社会ではなくなっています。言わなくてはいけないことは言わなければいけないし、歴史や文化、伝統が違う人のよさやおもしろさをお互いに認め合うようにならなくてはなりません。

子どもの個性をみつけてほめる、という育て方ができたら、その子どもはどんな民族の人ともお互いのよさを見つけ合えるように育つでしょう。それは、その子が仕事をしたり、人間関係をつくっていくうえで、大きな力になるはずなのです。

